

2024年10月16日作成 Ver.1.0

2024年10月25日作成 Ver.1.1

2024年11月2日作成 Ver.1.2

《情報公開文書》

頸動脈プラークでの血管新生と
リンパ管新生のアンバランス評価

研究の概要

【背景】

頸動脈の動脈硬化（プラーク）は脳梗塞の原因となる重大な問題です。プラーク内部は脂肪や小さな血管がやぶれてできた出血などが出現することで、さらにプラーク自体が大きくなって血管をつまらせたり、プラーク表面が血管内に破れて血栓を作って、脳梗塞を起こしてしまったりすることがあります。このプラークの増大を抑えるために、プラーク内にリンパ管が出現し、余剰成分をプラーク内から外に運び出すことで、プラークを小さくしようとする働きがあります。しかし、そのリンパ管がプラークのどこに出現しているのか、まだ明らかになってはいません。

【目的】

頸動脈プラーク内の血管とリンパ管の分布を調べ、動脈硬化の進行との関連を明らかにすることです。

【意義】

この研究により、動脈硬化の進行メカニズムの理解が深まり、将来の治療法開発につながる可能性があります。

【方法】

1. 内頸動脈狭窄症で手術を受けた患者さんの頸動脈プラーク標本を用います。
2. 患者さんの基本情報や検査結果を記録します。
3. プラーク標本を特殊な方法で染色し、顕微鏡で観察します。
4. 血管とリンパ管の数を数え、その比率を計算します。
5. プラークの厚い部分と薄い部分で、この比率を比較します。

対象となる患者さん

2015年1月1日から2017年12月31日に当院で頸動脈内膜剥離術を受けた患者さん

研究に用いる試料・情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・頸動脈内膜剥離術前の血液データと画像データ

●研究に用いる試料

頸動脈内膜剥離術で得られた頸動脈プラークの病理検体

プラーク内の血管の数とリンパ管の数を数えて、どちらが優位なのか計算をします。

本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

試料・情報の利用開始予定日

本研究は2025年1月9日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。

あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2025年12月31日

研究実施体制【単機関】※実施体制に合わせて適宜必要な情報を記載してください

研究責任者

所属：長崎大学病院 脳神経内科

氏名：立石 洋平

住所：長崎市坂本1-7-1

電話：095(819)7265

試料・情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、試料・情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 脳神経内科科 担当者名 立石 洋平

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095(819)7265 FAX 095(819)7265

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095(819)7200

受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）